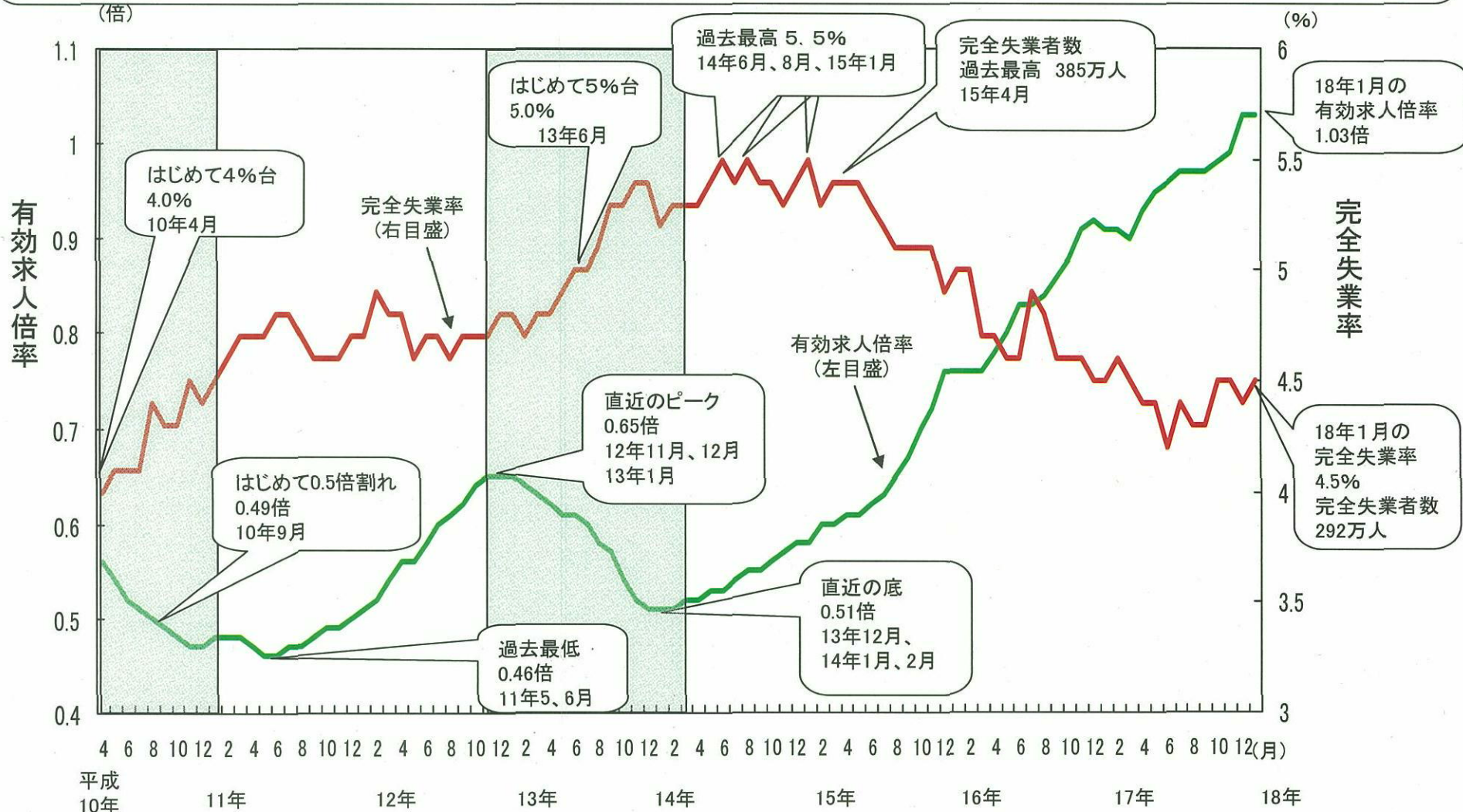


完全失業率と有効求人倍率の動向

2002年初頭からの景気の回復に伴い、有効求人倍率は緩やかな上昇傾向を示し、2005年12月には13年3ヶ月ぶりに1倍台を回復した。
 完全失業率も低下傾向で推移しており、2006年初頭においては4%台半ばまで低下するなど、労働市場は、全体としては緩やかではあるが改善傾向にある。



資料出所：厚生労働省「職業安定業務統計」、総務省統計局「労働力調査」
 (注)シャドー部分は景気後退期